

環境で地方を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業  
**成果報告会 発表資料**

活動団体名：浜松市

活動地域：浜松市

活動におけるテーマ・キャッチコピー

“地域で使うエネルギーを

地域でつくり、地域で賢く使う”

# 地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿



# 地域のビジョンを実現するための成果指標

“地域で使うエネルギーを 地域でつくり、地域で賢く使う”

- 地域資源を把握し、再生可能エネルギーへの理解度を高める
- 関係者間のマッチング、地元の理解を促進
- 地産地消のエネルギーを生み出し、温室効果ガスの削減につなげる

短期目標

長期目標

環境

FSC認証林面積 拡大

温室効果ガス排出量 削減

F S C 認証面積 一層の拡大

経済

需要家へのヒアリング実施

エネルギー自給率 up

木質バイオマス機器導入検討

機器導入検討事業所数 増

木質バイオマス燃料製造拠点 設置

社会

セミナー・無料相談会の参加者数 増

木質バイオマスに対する関心度向上

バイオマス関連施設見学

バイオマス産業観光 施設数増

# コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

1	事業の名称	<b>セミナー、無料相談会、見学会等の実施</b>	
	事業の概要	セミナーや無料相談会、実際に導入している施設等の見学会を開催する。	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 潜在的能力はあるものの、安定した材料の供給が可能か（採算性、人工など）</li> <li>➢ 木質バイオマスの理解が低く、需要数が増えない</li> <li>➢ 需要が増えないため、導入コストや燃料コストが下らない負の連鎖</li> <li>➢ 本事業をトータル的に展開する事業主体</li> </ul>
2	事業の名称	<b>木質バイオマスプロジェクトの実現</b>	
	事業の概要	木質バイオマス利用設備導入に向けて具体的な検討が行われている事業者を引き続き支援し、事業化につなげることで需要先を創出する。	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 導入先におけるイニシャルやランニングコストの不安</li> <li>➢ 導入後の運用等に関する問題点などの情報不足</li> </ul>
3	事業の名称	<b>燃料材の収集・加工方法の確立</b>	
	事業の概要	2の取り組みにより、安定てきなベース需要を確保し、川上側の一定の利益を確保することで、燃料材の収集方法の切り替えを促し、林地残材を林道端に搬出する仕組みを構築する。 林道端に集められた材を、燃料生産事業者が改修し、燃料化する仕組みも併せて構築する。	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ （川上）採算性が確保される木材単価 安定的な材の確保（量、質）</li> <li>➢ （川中）限られた資源（原料となる材）の取り合い 購入した材と燃料加工コストとのバランス</li> </ul>

# 今年度事業の成果と課題、今後の意気込み

## 今年度の成果

(本事業に取り組んで良かったこと)

- セミナー・無料相談会 1回  
(参加者) 木質バイオマスに興味のある企業等  
(成果) 企業間のマッチングができた。
- ワークショップ 1回  
(参加者) セミナー等で参加したステークホルダー  
(成果) 川上から川下までのそれぞれの意見交換を行い、互いの立場における認識を共有した。
- 事業報告会・1回  
(参加者) セミナー等で参加したステークホルダー  
(成果) 今年度実施した事業の反省と課題解決に向けた話し合いができた。

## 今後の意気込み

- セミナー、無料相談会、見学会等の実施
  - ▶木質バイオマスに係る理解促進や関係者間のマッチングにつなげる。
  - ▶見学先について、参加障壁を下げるため、市外視察ではなく市内施設への視察も検討する。
- 安定した熱需要先の創出
  - ▶木質バイオマス利用設備導入に向けて引き続き支援し、事業化につなげることで熱需要先を創出する。
  - ▶熱時用が高い公共施設への導入を検討することで、安定的な熱需要創出を目指す。
  - ▶市補助金等の情報を提供し、導入に向けた働きかけを行う。
- 燃料材の収集・加工方法の確立
  - ▶川上側の一定の利益を確保することで、燃料材の効率的な集積方法の確立を図る。
  - ▶燃料材加工方法についても同様に、効率の良い方法の確立を図る。
- エネルギーサービス事業による導入を促進
  - ▶熱や電気の供給を行うとともに設備メンテナンスを行う「エネルギーサービス事業」を検討する。
  - ▶エネルギーサービス事業のスキームやメリット等を周知し、窓口としての役割を模索する。

## 地域の活動の上での課題

- ステークホルダーの巻き込みについて  
企業等は興味を持ってもらえるものの、実際にステークホルダーとなるとなかなか参加いただけるのが難しい。
- 成果指標について  
アウトカム指標は設定しやすいが、アウトプット指標の設定は分野を絞らないと厳しい。
- その他  
マンダラ図の作成においては、事業だけではなく、市全体としての目線が必要となることから、関連する項目が多くなり、取捨選別をする必要があった。